

世界中に友だちをつくる日。 “キッズトライ 2026”

**九州・宗像市での2年目の開催です！
福岡・釜石・熊本、台湾・インドネシアの子どもたちが集い、
ラグビー大会や異文化体験により交流を図ります**



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

一般社団法人子どもスポーツ国際交流協会(以下、KSE)は、2026年8月に、国際交流プログラム『キッズトライ 2026』(第6回)を福岡県宗像市で開催します。
日本の3地域、海外2か国などの小学生5～6年生が集まり、ラグビー大会や異文化体験などにより交流を図ります。

キッズトライは、国内外の子どもが参加するラグビー大会(混成チームで対戦)を中心に、自然文化の共同体験イベントを組合せた異文化体験型の国際交流プログラムです。
2018年夏に『釜石キッズトライ』としてスタートし、2024年(第5回)は海外開催で、釜石・熊本・福岡・広島の子子どもたちが海を越えて台北市を訪れました。
昨年からは日本とアジア諸国との交流拠点である九州に開催場所を移し、機能・施設が充実した宗像市のグローバルアリーナを会場としています。2026年は地球環境をテーマに加え、環境学習などを実施する計画です。

KSEは、スポーツを介して子どもを中心とした国内外の人々との交流の場を創り、子どもたちの成長や地域の活性化の一助にしたいと考えています。
キッズトライでは、日本各地と海外の小学生世代を対象とし、多くの子どもたちが馴染みやすく“言葉の壁”を越えてプレーできるラグビーをメインの交流手段として、次世代のグローバル・リーダーの育成(カルチャーインテリジェンスの獲得機会の提供)を図ります。



〈本ニュースリリースに関するお問い合わせ〉

一般社団法人 子どもスポーツ国際交流協会 <info@tkse.org> <070-2254-5194>
向山 昌利 (代表理事)
濱島 幸生 (特任理事・広報担当)

【2026年度の開催概要】

活動名称・実施の体制

- ・活動名称：キッズトライ国際交流プログラム 2026 (略称：キッズトライ 2026)
- ・主催：一般社団法人子どもスポーツ国際交流協会 (略称：KSE)
- ・企画運営：キッズトライ 2026 プロジェクト
- ・支援・協力 (※記載の団体/組織は2026年4月時点、予定/調整中も含む)

《後援》

台北経済文化代表処
 インドネシア日本大使館
 福岡県
 宗像市
 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
 熊本県ラグビーフットボール協会

《協力》

玄奘大学
 台北市大同区延平国民小学校
 新北市同栄国民小学校
 釜石ラグビー応援団
 サニックス・アカデミー
 インドネシアラグビー協会

《協賛》

ストックウェザー株式会社
 株式会社ビジネスブレイン太田昭和
 株式会社ファイナンシャルブレインシステムズ
 サイバートラスト株式会社
 コムシス情報システム株式会社
 株式会社エス・イー・シー・ハイテック
 浜田鉄筋有限会社
 東京エレクトロン九州株式会社
 白鷺電気工業株式会社
 ハイコムウォーター株式会社
 株式会社笠谷工務店
 株式会社ラック
 クラシエ株式会社
 共栄船渠株式会社
 MYM International 株式会社
 シン・エナジー株式会社
 ECC 外語学院
 YASKAWA 未来クラブ
 特定非営利活動法人 スクラム釜石
 シャボン玉石けん株式会社

開催日程・場所

- ・2026年8月2日(日)～4日(火) 2泊3日
 ※前日及び翌日は遠隔地から参加の場合の移動日
- ・宗像市 グローバルアリーナ

参加者・プログラム内容

- ・キッズタグラグビー大会、体験学習などのイベントにより異文化理解や国際交流を図る。
 - － キッズタグラグビー大会：タグラグビー (しっぽ取り鬼ごっこ) の混成チームをつくり、考え協力しながら予選～決勝の試合でプレー
 - － 国際交流・体験学習イベント：日本や宗像市の文化/自然に触れ、様々なグループ活動を行い、コミュニケーションをとる
 (※2026年開催は、安全管理面から全てをグローバルアリーナ内での活動とする)
- ・釜石・熊本・福岡、台湾・インドネシア等で募集し、小学5～6年生の約50名が参加予定。
 - － 国内からの参加は、福岡、釜石、熊本
 - － 海外からの参加は、台湾 (台北市立延平小・新北市立同栄小)、インドネシア その他
 (※ラグビー未経験の子どもたちも参加)
 (※参加費は宿泊・食費・保険料・運営費の一部として18,000円、参加費支援制度あり)

・プログラム予定

- 1日目 集合 (11時頃、グローバルアリーナ)
 開会式 (オープニングアクト)
 和太鼓演奏体験
 タグラグビー講習 (混成チーム作り、アイスブレイク ※協力 安川電機ラグビー部様)
 夕食後に交流イベント (地球環境学習 ※協力 シャボン玉石けん様)
- 2日目 タグラグビー大会・予選
 交流イベント (異文化理解、共働型ゲーム)
 夕食後にキャンプファイヤー・花火による交流
- 3日目 タグラグビー大会・決勝～表彰式
 閉会式 (クロージングイベント)
 解散 (14時頃)

-
- * 宗像市での活動の事前及び事後に、参加する国内の子どもたち向けの研修を実施する。
 事前研修(7月に実施予定)：顔合わせ、ネットリテラシー、英会話講習など
 事後研修(8月に実施予定)：交流の振り返り、ネットリテラシー、英会話講習など

【キッズトライについて】

『キッズトライ』は、国内外の子どもが参加するラグビー大会（しっぽ取り鬼ごっこ、混成チームで対戦）を中心に、自然文化の共同体験イベントを組合せた異文化体験型の国際交流プログラムです。

2018年夏に『釜石キッズトライ』としてスタートし、昨年度は釜石・熊本・福岡・広島の子どもたちが台湾の台北市を訪れました。今年度は、グラウンドや設備が充実したグローバルアリーナで参加する子どもたちの数を増やして開催します。本プログラムは、岩手県釜石市での活動実績・ノウハウをベースとして、2025年度以降は九州地域を中心にアジアとの交流事業を展開する予定です。こうした活動の持続によりスポーツの価値を広く発信していきます。

【主催者の子どもスポーツ国際交流協会について】

一般社団法人子どもスポーツ国際交流協会（THE KIDS SPORTS EXCHANGE、略称 KSE）は、スポーツを活用するさまざまな活動を通じて、健全な心と体を生み出し、活力に満ちた社会をつくり、スポーツが持つ価値を発信して、日本だけでなく世界中の人々が幸せな生活を獲得できる世界の実現に貢献することを目的に2009年に設立されました。子どもたちを対象とするスポーツ国際交流の企画運営と調査研究を実施しており、主に日本～タイ、日本～台湾の間での「キッズラグビー交流事業」を開催しています。《KSE ウェブページ》<http://www.tkse.org/>

釜石キッズトライ

国内外の子どもが参加するラグビー大会を中心に、自然文化体験/被災学習コンテンツを組合せた国際交流プログラムを、毎年夏～秋頃に釜石市にて開催。

- 2018年度；第1回 <参加者 45名>
台湾、オーストラリアから釜石に集い、三陸自然文化体験、被災学習、ラグビー大会を実施 釜石市/内閣官房東京オリ・パラ推進本部の“復興「ありがとう」ホストタウン”事業と連携
- 2019年度；第2回 <32名>
ラグビーの縁から参加地域（熊本、台湾、日本在住フィジー）を増やし、釜石の諸団体との連携も強め企画開催。プログラムの一環として「釜石・鶴住居のまちづくりワークショップ」を実施
- 2020年度；開催見送り
コロナ禍を踏まえ、釜石に集っての交流プログラムの開催を見送り(中止)
- 2021年度；第3回（オンライン国際交流のみ） <31名>
ラグビーワールドカップ2019の釜石市のレガシー(伝承遺産)の活用を考え、東日本大震災から10年が経過したまちづくりに想いを込めて企画準備、オンラインで交流（釜石、台湾、広島）
- 2022年度；第4回 <24名>
コロナ禍による制約が続く中で、国内参加地域（熊本、広島、福島）の子どもたちが釜石に集まる場を設け、釜石の地域活動推進諸団体との連携強化により開催
台湾とはオンライン国際交流をレベルアップして実施
- 2023年度；中止
8月の釜石開催(参加地域：台湾、南三陸、福島、熊本、広島)に向け企画準備するも、台湾側の来日が困難な状況になり中止
- 2024年度；第5回 <55名>
台湾にて特別開催(5月)

キッズラグビー交流（タイ、台湾）

- 日タイ・キッズラグビー交流
タイの子どもたちを日本に迎えて、ラグビーを通じた交流活動を実施しています。
 - 目的：ラグビーを通じた異文化理解
 - 協力：Thai Barbarians Co. Ltd. (タイ・ラグビー関連企業)
 - 内容：ラグビー試合交流、合同合宿／ホームステイ
 - 開催年/回数：2009、2012～18、全8回
 - 場所：千葉県(NEC安孫子事業所)、茨城県(流通経済大学)
 - 参加者：タイの小学5～6年生、関東周辺の小学5～6年生
 - 期間：2泊3日
- 日タイ・キッズラグビー交流 in バンコク
日本の子どもたちがタイを訪れ、ラグビーを通じた交流を行っています。タイのラグビー関係者の現地協力を得て開催しています。
 - 目的：ラグビーを通じた異文化理解
 - 協力：Thai Barbarians Co. Ltd. (タイ・ラグビー関連企業)
 - 内容：ラグビー試合交流、合同合宿
 - 開催年/回数：2013、2016、全2回
 - 場所：バンコク (Vajiravudh College)
 - 参加者：関東周辺の小学5～6年生、タイの小学5～6年生
 - 期間：3泊4日
- 日台・キッズラグビー交流 in 台北
日本の被災地の子どもたちが台湾を訪れ、スポーツを楽しみ、ラグビーを通じた国際交流を行っています。
 - 目的：震災復興支援
～ひと時でも楽しい時間を提供する～
 - 協力：ファイブワズ (台湾日本人会・ラグビー部)
 - 内容：ラグビー試合交流、合同合宿
 - 開催年/回数：2012、2014、2017、全3回
 - 場所：台北
 - 参加者：岩手県釜石シーウェイブスJr、熊本県の小学生ラグビー選手(2017年のみ参加)、台北の小学5-6年生
 - 期間：3泊4日

《代表理事》 向山 昌利（中央大学 文学部 准教授）

熊本県出身、元ラグビー日本代表、同志社大学～ワールド～NEC グリーンロケッツにてプレー。ニュージーランド及び英国へのラグビー留学に加えて、日本代表バイスカプテン、日本A代表キャプテンとして国際舞台を数多く経験。現役時代から国際交流支援に積極的に取り組み、現役引退の2009年以降、スポーツを通じた国際交流や国際協力の実践と研究に従事している。主な活動実績は、日本各地・タイ・台湾のキッズラグビー交流(13回)、外務省及びスポーツ庁が連携して進める「スポーツ・フォー・トゥモロー」におけるアジアでのラグビー普及育成活動など。震災復興支援を契機に、釜石と台湾の小学生のラグビー交流活動を始め、数年前から釜石のまちづくりとスポーツの関係をテーマとした調査研究を実施中。2023年まで日本ラグビーフットボール協会/国際協力部門長を務め、現在は国際協力機構/技術専門委員(ラグビー)、日本都市センター/自治体におけるスポーツを活用した地域振興に関する研究委員を務めている。

《特任理事》 濱島 幸生（総合コンサルティング会社勤務）

横浜在住の現役サッカープレイヤー。ラグビーは国立競技場最後のドリームマッチに出場、観戦は“雪の早明戦”の頃から。国土構造・都市/地域活性化などの政策立案支援（「東北沿岸域振興ビジョン」、地方自治体「総合計画」、 「広域交流圏/地域連携軸構想」、 「空港を核とした街づくり構想」など）を数多く手掛け、Internetの萌芽期からコミュニティビジネス分野のコンサルティング、モバイル端末・電子マネー等の先端IT活用やIoT関連の新規事業の立上げに従事。東北震災後に復興支援等のプロボノ活動に参画。横浜・野毛山地区で古民家改修(横浜市・まち普請事業の助成)による“多世代・多国籍の交流空間”『CASACO』を共同代表として企画運営。2015年9月の震災復興ツーリズム「くらくらツアー」に参加し、釜石・鶴住居神社の御神輿再建時のお祭りを体験。いま地方創生(地域の持続的な経済活動)やDX3.0(社会課題解決へのデジタル社会基盤の実装)の仕組みづくりに取り組んでいる。

【キッズトライ 2025 の記録】

8/2(土) インドネシア・釜石グループが宗像入り



〈インドネシアグループ〉



〈グローバルアリーナ〉



〈前泊ホテルにて〉

8/3(日) プログラム 1 日目



集合 11:00



開会式 (和太鼓ユニット『がま』によるオープニングアクト)



和太鼓演奏の体験交流



〈宿泊部屋、食堂での食事、大浴場〉



宗像市の文化交流/『霸王』ステージ演奏



6つの混成チーム作り
(チーム名称決め)



ラグビー講習 (ウォームアップ～実習)



8/4(月) プログラム 2 日目



ラグビー大会・予選



ウォーキンググローバル



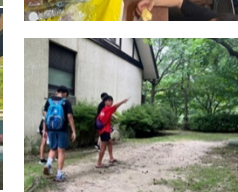
インドネシアの文化紹介



BBQ・キャンプファイヤー(ダンス、ゲーム)・花火



ラグビー大会・決勝



〈水鉄砲遊び〉



閉会式・表彰式(12時)～解散

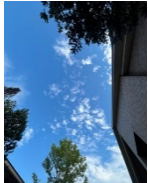


〈お別れの記念撮影〉



〈出来事や感想を作文〉

8/5(火) プログラム 3 日目、福岡・熊本グループは帰宅



ラグビー大会・決勝



〈水鉄砲遊び〉



〈モールでショッピング〉



〈出来事や感想を作文〉

8/6(水) 釜石帰途へ、海外グループは福岡バスツアー～帰国



福岡観光ツアー



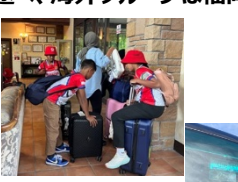
〈福岡タワー〉



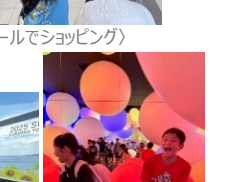
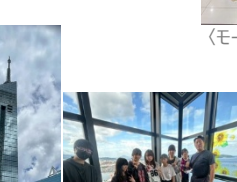
〈チームラポフォレスト福岡〉



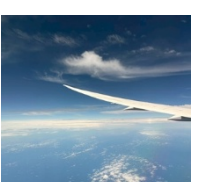
〈帰国-台湾グループ〉



〈福岡タワー〉



〈チームラポフォレスト福岡〉



〈帰国-台湾グループ〉